

「バスケットボール研究」投稿の手引き

投稿論文は、以下の説明にしたがって作成してください。

1. 原稿全般

- (1) フォントサイズは、10.5 ポイントにしてください。
- (2) 本文には、ページ下部中央に通し番号をつけてください。また、審査員が要修正事項や照会事項を指摘しやすくし、かつ著者が審査員への回答コメント等で修正・対応箇所を明示するために、本文の左側に行番号(ページごとに振り直し)をつけてください。
- (3) 原稿は、図表・抄録を含めて刷り上がり A4 判 10 ページ以内を原則とします。投稿時には、表紙と英文抄録およびその和訳を除き、スペースを含めて 22,000 文字程度(図表は 1 枚につき 800 文字換算)を目安としてください。ただし、この文字数内に収めても、スペースやレイアウト等の関係で刷り上がり 10 ページを超えることがあります。査読における修正変更分も含めて、機関誌発行時に規定ページ数を超過した場合、刷り上がり 1 ページにつき 1 万円を投稿者が負担します。また、特別な印刷を要した場合には、その実費を投稿者が負担します。
- (4) 投稿は電子メールにておこないます。以下の 2 種類のファイルを作成して、Word 形式で提出してください。なお、審査の公平性を期するため、ファイルを作成する際には、プロパティ等に残された投稿者を特定する情報は削除してください。
 - ①表紙(記載事項は投稿規程を参照)、抄録(英文および和訳)、本文、図表(必要に応じて別ファイルでの提出可)の順番で 1 つのファイルにまとめる。
 - ②上記から、著者名(共著者を含む)および所属機関を削除したコピーを 1 つのファイルにまとめる。

2. 引用

文献を引用する際には、適当な文献を厳選して正確に引用してください。本文中の引用文の右肩か、著者名の右肩に文献番号を上付きで示し、巻末の文献表に本文中の文献番号に照応する文献を番号順に記載します。該当する文献が 2 つある場合には、括弧内の数字をコンマ(,) でつなぎ、3 つ以上ある場合はハイフン(-) でつないで表記します。

- (1) 本文中で文献の一部を直接引用するときは、引用した語句または文章を「(和文)」あるいは“(英文)”でくくり、右肩に文献番号を記載します。また、間接的に引用するときは、引用した文章の末尾の右肩に文献番号を記載します。著者名を明示して引用するときは、著者名の右肩に文献番号を記載します。

[例]

「バスケットボール競技の可能性」¹⁾という語句は……。 “Invention of Tradition”⁷⁾の視点は……。 ……との指摘がなされている⁸⁾。 宮益ほか¹⁾によれば……。 高砂¹⁻⁴⁾の一連の研究では……。 小菅・池上^{7,8)}によれば……。 Setagaya et al¹⁾によれば……。

(2) 英語文献を用いる場合、原書を引用するときは本文中の著者名は英文で表記します。また、翻訳書を引用するときは、本文中の著者名はカタカナで表記します。その他の外国語文献も、これに倣うこととします。

[例]

Jordan²⁾によれば……。 一方、Jordan³⁻⁵⁾の一連の著作では……。 しかしながら、ジョーダン²⁾のシカゴ論では……。

3. 注 記

注記は、本文中あるいは図表で説明するのが適切ではなく、しかも補足的に説明することが明らかに必要なときのみ用います。注記をつける場合は、本文の該当箇所の右肩に^{注 1)}、^{注 2)}のように通し番号をつけ、本文と巻末の文献表との間に一括して番号順に記載します。注記の見出し語は「注」とします。

[例]

戦術的ピリオダイゼーション理論^{注 1)}の提唱者であるフラーデは……。 Smith のフリーランス・パッシングゲーム^{注 2)}の戦術からみても……。

4. 文献表の作成

本文中で引用した文献について、巻末の文献表に番号順に記載します。文献表の見出し語は「文献」とします。

(1) 定期刊行物(いわゆる雑誌)の書き方

定期刊行物の書誌データの表記は、著者名(発行年)論文名・誌名、巻(号): ページ. の順とします。

①著者名および発行年

共著の場合、和文は中黒(・)、英文は“and”で著者名をつなぎます。ただし、英文で著者が3人以上いる場合には、著者名をコンマ(,)でつなぎ、最後の著者名の前だけに“and”を入れます。同様のパターンで、筆頭著者名の後に“et al.”を付して、その他の著者名表記を省略することもできます。発行年は著者名のすぐ後の()内に記入します。

[例]

1) 稲垣安二・石川武・清水義明 (1983) ……

- 2) Hall, M. A., Cullen, D., and Slack, T. (1989) . . .
- 3) Williams, R. et al. (2009)

② 論文名

論文名の最後にはピリオド(.)をつけます。副題がある場合は、コロン(:)でつないでください。英文は、論題名と副題の最初の文字だけを大文字にします。

③ 誌名

和文誌名は略記せず、必ず誌名全体を記載してください。英文誌名は、その雑誌に指定された略記法、または広く慣用的に用いられている略記法がある場合は、それを表記することができます。それ以外は省略しないでください。誌名の最後にはコンマ(,)をつけてください。

④ 巻号およびページ

引用した雑誌の数が号のみの場合は()に号数を記入し、巻・号がある場合は巻(号)のスタイルで表記します。その後にはコロン(:)をつけ、続けてページを記載し、最後にピリオド(.)を打ちます。ページ表記を引用箇所のみとするのか、論文全体の開始～終了ページとするのかについては、各研究分野の慣例に倣って投稿原稿内で統一してください。なお、前者を採用する場合は、引用したページを正確に記載してください。

[例]

- 4) Ito, E., Iwamoto, J., Azuma, K., and Matsumoto, H. (2015) Sex-specific differences in injury types among basketball players. *Open Access J Sports Med*, (6): 1-6.
- 5) Struzik, A., Pietraszewski, B., and Zawadzki, J. (2014) Biomechanical analysis of the jump shot in basketball. *J Hum Kinet*, (42): 75.
- 6) 内山治樹 (2014) チームスポーツにおける競技者のプレイを支える規範の探究: マイケル・ジョーダンの「威光」に着目して. *体育学研究*, 59 (2) : 591-608.
- 7) 大川信行 (2006) バasketボールのファストブレイク誕生までの経緯. *体育史研究*, (23) : 58.

⑤ 早期公開論文

正式に発行される前の早期公開論文を引用する場合は、以下の例を参照し、巻(号)、 ページの代わりに、当該雑誌に付与された識別子“DOI”(Digital Object Identifier)を記載してください。発行年は、早期公開年とします。

[例]

- 8) 角川隆明・高木英樹・仙石泰雄・椿本昇三 (2012) 平泳ぎ泳パフォーマンスと圧力分布から推定した足部流体力との関係. *体育学研究*, doi : 10.5432/jjpehss.12003.

(2) 単行本の書き方

書き方の原則は、定期刊行物の項にしたがってください。

① 単行本の場合

著者名（発行年）書名（版数、ただし初版は省略）．発行所，引用ページ(p. または pp.)の形式で表記します。なお、引用箇所を特定せず単行書全体をあらわす場合には、ページは省略します。また、編者や監修者、編著者がいる場合には、「〇〇編」、「〇〇監」、「〇〇編著」などと表記します。英文では編者が 1 人の場合は(Ed.)、複数の場合は(Eds.)をつけます。

[例]

9) 日本バスケットボール協会編（2002）バスケットボール指導教本．大修館書店，pp.9-23

10) Bunn, J. (1939) Basketball methods. Macmillan, p.45

11) 吉井四郎（1967）バスケットボール指導全書 1 コーチングの理論と実際．大修館書店

12) Chu, D., Segrave, J.O., and Becker, B.J. (Eds.) (1985) Sport and higher education.
Human Kinetics

② 単行本の一部の場合

論文(章)の著者、発行年、論文(章)の題名の後ろに、編者、監修者、編著者がいる場合は「〇〇編」、「〇〇監」、「〇〇編著」などと表記します。英文の場合には、“In:”をつけた後、編者、監修者、編著者名と(Ed.)または(Eds.)をつけます。

[例]

13) Moony, J. (1983) The Cherokee ball play. In: Harris, J.C. and Park, R.J. (Eds.) Play, games and sports in cultural contexts. Human Kinetics, pp. 259-282

14) 牧山圭秀（1972）バスケットボールの技術史．岸野雄三・多和健雄編，スポーツの技術史．大修館書店，pp.374-400

(3) 翻訳書の場合

原著者の姓をカタカナ表記し、その後ろにコロン(:)をつけて訳者の姓名を記入します。共訳の場合は中黒(・)で、訳者が 3 人以上の場合は「〇〇ほか訳」と省略して筆頭訳者だけ記載します。また、投稿者が必要と判断した場合、原書の書誌データを翻訳書に続けて< >内に付記することができます。

[例]

15) ジャクソン・ディールハンティアー：佐良土茂樹・佐良土賢樹訳（2014）イレブンリングス 勝利の神髄．スタジオタッククリエイティブ

16) フィリッピー：佐良土茂樹訳（2012）バスケットボール シュート大全．スタジオタッククリエイティブ，pp. 8-34 <Filippi, A. (2011) Shoot like the pros: The road to a

successful shooting technique. Triumph Books >

<平成 27 年 2 月 7 日 理事会にて承認>

<平成 28 年 2 月 26 日 理事会にて改正を承認>